

## 第 14 期事業計画

### 【権利処理】

- ①実演権利者より委任を受けた一任型の許諾及び分配に関する業務について、芸団協（公益社団法人日本芸能実演家団体協議会）並びに、aRma（一般社団法人映像コンテンツ権利処理機構）に復委任をするとともに、権利処理を適正に行う。
- ②実演権利者より委任を受けた非一任型の許諾及び分配に関する業務について、映像作品の部分利用や対象実演家の写真・肖像の使用等について権利処理を適正に行う。
- ③受領・徴収した使用料等の適切な分配を、本年 6 月と 11 月に行う。
- ④映像作品の部分利用等について、より迅速かつ円滑に権利処理を行うため、申請受付や許諾回答など「利用者—PRE—委託者」間における相互伝達を全て PREX 上で行うことを目指す。それに伴い、PREX 未導入の放送局に対し一層働きかけをするとともに、委託者へも PREX の利用を促進する。
- ⑤実演権利者の権利処理を適切に行うため、委任登録票及び委任者リストを取得・管理する。
- ⑥委託者の委任情報を安全かつ適切に管理するため、また、徴収及び分配業務の安全かつ確実な実施のために、システムの機能を向上させる。
- ⑦芸団協、aRma 及び社員団体等の他、音事協（一般社団法人日本音楽事業者協会）、音制連（一般社団法人日本音楽制作者連盟）、MPN（一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN）など、各関係団体等と協力の上、必要な委任情報を共有し、情報の整備及び適切な管理を行う。

### 【知的財産権普及活動】

- ①今後より一層、実演家の権利と、放送や新しいメディアによる利用などの知識普及に資するセミナー等を実施するため、これまで実施してきた PRE セミナーやシンポジウム等を見直し、今後のあり方や実施について引き続き検討する。
- ②実演家を取り巻く権利の問題や、放送や配信等における話題を中心に、普及啓蒙活動を行うため、「季刊 PRE」を発行し、その誌面の充実を図る。
- ③パンフレットやホームページを通じて本機構の事業内容を周知する。

### 【その他】

- ①芸団協及び aRma の運営に参加の上事業の協力をを行い、さらに音事協、音制連、MPN など、各関係団体等との協力関係を維持する。
- ②「季刊 PRE」の巻頭インタビュー、また、「季刊 PRE」とホームページに掲載している「事務所探訪」などを通じて、本機構と委託者との連携の強化を図る。
- ③本機構の運営基盤を確かなものとするため、賛助会員入会の勧誘活動を行う。

- ④より円滑に本機構の運営を進めるため、管理委託契約約款をはじめとする規程類や運営体制・業務体制の再確認及び、見直しを行う。
- ⑤本機構が保有する委任情報等には安全管理措置を講じ、管理体制の確認や継続的な改善を実施し、情報保護に努める。
- ⑥事務局職員の業務能力向上、情報セキュリティに関する知識の取得、及び実演に関する教養を深めるため、セミナーや演劇鑑賞等の研修を行う。

以上